

令和6年度の重点課題

情意面での課題

○学校全体では、運動が「やや嫌い」「嫌い」の割合が14%で昨年の15.3%とほぼ変わらなかった。しかし、「嫌い」と答える児童が昨年は2人いたが、今年度はいなくなった。

体力面での課題

○男子は、「上体起こし」「20mシャトルラン」「50m走」「立ち幅跳び」で県平均値かつ全国平均値より下回り、特に「20mシャトルラン」に課題がある。

○女子は、「握力」「上体起こし」「長座体前屈」で県平均値かつ全国平均値より下回り、特に「握力」に課題がある。

○全体では、「上体起こし」に課題がある。

上記の課題を受けて具体的に
取り組んだ事項

○新体力テストの結果を受け、各学級ごとに課題種目について取り組んだ。具体的には、体力づくりを家庭学習で行ったり、体育の授業で鬼遊びを行い「走の運動」に取り組んだ。

○遊具や用具を使ったサーキットトレーニングやいろいろな種類のスタートダッシュを行った。

○運動量をしっかり確保して体力の向上を図るために「走の運動」や地域に根差して運動である「クロスカントリースキー」を冬季に積極的に行った。

○大休憩には、業間運動で体力をつけるために「走の運動」である「5分間走」や冬季の「クロスカントリースキー」を行った。

令和7年度新体力テストの結果 県平均値(令和6年度)・全国平均値(令和5年度)との比較

男子	握力	上体起こし	長座体前屈	反復横とび	20m シャトルラン	50m走	立ち幅とび	ボール投げ	体力合計点	女子	握力	上体起こし	長座体前屈	反復横とび	20m シャトルラン	50m走	立ち幅とび	ボール投げ	体力合計点
第5学年	16.50	16.00	30.50	38.00	41.00	9.95	159.50	23.00	51.50	第5学年	13.67	17.33	35.00	39.33	45.67	9.80	149.67	19.50	56.00

県平均値かつ全国平均値未満

令和7年度新体力テストの結果 県平均値(令和7年度)・全国平均値(令和6年度)との比較

男子	握力	上体起こし	長座体前屈	反復横とび	20m シャトルラン	50m走	立ち幅とび	ボール投げ	体力合計点	女子	握力	上体起こし	長座体前屈	反復横とび	20m シャトルラン	50m走	立ち幅とび	ボール投げ	体力合計点
第5学年	16.50	16.00	30.50	38.00	41.00	9.95	159.50	23.00	51.50	第5学年	13.67	17.33	35.00	39.33	45.67	9.80	149.67	19.50	56.00

県平均値かつ全国平均値未満

運動(体を動かす遊びを含む)やスポーツをすることは好きですか

男子	好き	やや好き	やや嫌い	嫌い	女子	好き	やや好き	やや嫌い	嫌い
第5学年	33.33	33.33	33.33	0.00	第5学年	33.33	33.33	33.33	0.00

学校独自の意識調査

男子	好き	どちらかといえば好き	あまり好きではない	好きではない	女子	好き	どちらかといえば好き	あまり好きではない	好きではない
1年生	100%	0%	0%	0%	1年生	100%	0%	0%	0%
2年生	100%	0%	0%	0%	2年生	0	0	0	0
3年生	67%	33%	0%	0%	3年生	50%	0%	50%	0%
4年生	40%	60%	0%	0%	4年生	20%	60%	20%	0%
5年生	0%	50%	50%	0%	5年生	33%	33%	33%	0%
6年生	33%	67%	0%	0%	6年生	40%	40%	20%	0%

重点課題

情意面での課題

○学校全体では、運動することが「あまり好きではない」「好きではない」と答えた児童の割合が10.9%であった。

体力面での課題

○男子は、「上体起こし」「長座体前屈」「反復横跳び」「20mシャトルラン」「50m走」で県平均かつ全国平均値より下回っている。
○女子は、「握力」「上体起こし」「長座体前屈」「反復横跳び」「50m走」で県平均かつ全国平均値より下回っている。
○全体的な課題として、「上体起こし」「長座体前屈」「反復横跳び」「50m走」が上げられる。

令和8年度の
重点目標値

○体育や業間運動では、児童の意欲が低下しないように遊びを取り入れた楽しい運動を取り入れ、運動することが「やや嫌い」「嫌い」の割合を10%以下にする。
○総合評価の(AB-DE)率を今年度24.4%から下回らないようにする。
○「上体起こし」について取り組み、6月の数値よりも再テストの数値が上回る児童の割合を80%以上にする。

重点課題に対応した改善する取組内容及び方法

体育の授業で行う取組内容

○準備体操を従来の体操で行うのではなく、サーキットトレーニングや遊びなどを取り入れることで、楽しみながら運動量を確保できるものに改善する。
○学年間の連携により準備時間の短縮や授業中の指示の精選を行い運動する時間を多く確保する。

体育の授業以外で行う取組内容

○週に2回の業間運動を確実に行う。マラソンや縄跳びなどを行い、音楽を流したりチャレンジカードを活用したりすることで児童の意欲を高める。
○熱中症対策も考え、教室でも取り組めるエクササイズトレーニングを行うことで、暑い中でも運動できる時間を作り出す。